

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業				②事業番号	2105	
③事業類型	2. 法上(任意)事業			④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 4 年度 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	<input checked="" type="radio"/> 要綱	計画等	その他	法令等の名称: 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱
⑦実施手法	<input checked="" type="radio"/> 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	2	項	1	目	1	細目 8
⑨担当部名	総務部			⑩担当課名	総務課		
						会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① オンライン会議端末	① オンライン会議端末	台
② サーマルカメラ	② サーマルカメラ	台
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症予防対策としてオンライン会議の推進を行うとともに、庁舎内にサーマルカメラを設置することにより、来庁者等の感染の拡大を予防する。	① オンライン端末延べ使用日数	日
	② サーマルカメラ稼働延べ日数	日
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症予防を推進するため会議等のオンライン化を推進するとともに、来庁せざるを得ない場合において感染症対策を十分におこなう。	① オンライン端末稼働率	%
	計算式 延べ使用日数/利用可能延べ日数	
	② サーマルカメラ稼働率	%
	計算式 延べ使用日数/利用可能延べ日数	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
職員及び市民において感染症リスクを低減させることで感染症罹患の抑制をおこなう。	政策(章) 6	みんなでまちづくりに取り組むまち
	施策大(節) 2	市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします
	施策中 1	行政経営の高度化
	施策小 4	高い市民満足度が得られるサービスの推進

(6-2-1-3) 高度情報化の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標① オンライン会議端末	台			3	10	10	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標② サーマルカメラ	台			3	3	3	
活動指標① オンライン端末延べ使用日数	日			193	1,148	1,148	
活動指標② サーマルカメラ稼働延べ日数	日			248	313	313	
活動指標③							
成果指標① オンライン端末稼働率	%			45	42	42	
成果指標② サーマルカメラ稼働率	%			33	32	32	
成果指標③							
事業費							
投入人員	人			0.07	0.07		
正職員	人			0.00	0.00		
任期付職員	人			0.00	0.00		
臨時職員	人			0.00	0.00		
事業費	千円			534	534		
人件費(投入人員*単価)	千円			1,654	2,589		
直接事業費	千円			2,188	3,123		
総事業費	千円						
財源内訳							
国庫支出金	千円			1,654	2,589		
府支出金	千円			0	0		
受益者負担金	千円			0	0		
その他特定財源	千円			0	0		
一般財源	千円			534	534		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症予防の観点から来庁者及び職員の安全確保の観点から、会議のオンライン化、来庁者に対する健康確認の必要が生じたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	様々な会議等においてオンライン化が推進され、また、今後においてもこのような状況が続くと考えられる。また、来庁者に対しても健康状態の確認が継続して必要と考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	-

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症に対して必要な対応である。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	オンライン会議の推進や来庁者の安全確保から期待通りの成果が得られていると考えられる。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	サーモカメラについては各種イベント等で積極的に使用するよう働きかける必要がある。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	サーモカメラを導入している施設等があるものの、それぞれの施設で常に使用しているため連携が難しい。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **B**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	各部署への端末の貸与事務と通信機器の管理のためコスト削減は難しい。
--	----------------	-----------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	B	オンライン端末において、利用状況に応じて通信機器の増減を定期的に検討する必要がある。	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止
	↓ (___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)	

<今後の展開方針>

a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
--	--

①改革、改善の具体案、実施年度など	利用頻度に応じて、今後端末及び通信機器の増減について検討する必要がある
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	回線の電波状況・混雑状況により通信速度が左右されるため、通信回線に問題が頻発する場合は、現行のモバイルWi-Fiとは異なった方法によるオンライン環境の整備を行う必要が発生する可能性がある。